

グラビア	地域を支える人 小林麻子さん・福井県	1
発掘!地域の希望のタネ	山梨県北杜市 〈金精軒〉	5
給食のじかん	〈ごろっと那須野菜カレーライス〉 栃木県那須塩原市 渡辺美佐江	6
特集解題	まちを興すエネルギー政策	8
焦点	「森林環境税」(森林吸収源対策税制)が直面する重大な問題 青木宗明	10
書評	『世界の地方創生 辺境のスタートアップたち』 石澤香哉子	16

特集 まちを興すエネルギー政策

日本のエネルギー政策をめぐる現状 —「原発ファースト」から「再エネファースト」への転換へ	諸富 徹	18
第一回世界ご当地エネルギー会議報告	田島 誠	28
家畜ふん尿からバイオガス、電気、そして水素へ —北海道鹿追町のバイオガスプラントを核とした循環型まちづくり	『月刊自治研』編集部	36
活力ある地方創生をめざした地域新電力の挑戦 —福岡県みやま市の取り組み	古田 稔	42
温泉発電という取り組み—長崎県小浜温泉における事例	佐々木裕	47
エネルギーの協同と自治のあゆみ —小水力発電を切り口に	三浦一浩	53
各県自治研活動レポート	「まちづくり」をテーマにフィールドワーク —自治労千葉県本部	金木正典 58
チャレンジサポート	わきあがる不安を乗り越え、加速する絵本づくり 札幌編⑤	相内利幸 60
連載ルポ	「旧町村部」を歩く 第2回 静岡県浜松市旧龍山村(前編) 坂本 誠	62
連載	『月刊自治研』を読む(第二季) ⑦ 自主管理社会主義 篠田 徹	69
	自治研センターの機関誌案内	75
	次号予告・編集部から	76

まちを興すエネルギー政策

地域の資源を活かす再生可能エネルギーへの転換は、すでに世界的な流れになっていきました。日本でも、地産地消のエネルギー政策をまちづくりの核にする取り組みがはじまっています。

日本のエネルギー政策をめぐる現状

「再生可能エネルギーファースト」ではなく、「いまだに「原発ファースト」となっている日本のエネルギー政策の現状を分析し、これからのあるべき改革の方向性を考えます。(本誌一八頁)



第一回世界ご当地エネルギー会議報告

二〇一六年一月、福島市に世界各国の地域分散型の再生事業の関係者が集い、会議が開かれました。この新しい国際的な潮流をレポートします。(本誌一八頁)



北海道鹿追町 家畜ふん尿からバイオガス・電気・水素

人口五五〇〇人ほどの小さな町が、日本屈指のバイオガスプラントをつくり、家畜ふん尿から電気や水素を産み出し、循環型のまちづくりに活かしています。(本誌三六頁)



福岡県みやま市 自治体版 地域新電力の挑戦

電力自由化がスタートして一年半。自治体初の新電力事業にチャレンジし、高齢者見守りサービスや買い物弱者対策にもつなげる取り組みを紹介しています。(本誌四二頁)



長崎県雲仙市 温泉発電という取り組み

地震国日本でポテンシャルが高いとされる地熱発電が、温泉とのトータルで頓挫するケースもあるなか、温泉熱での発電に取り組み長崎県雲仙市の小浜温泉の試みをレポート。(本誌四七頁)



協同と自治の小水力発電

電力の地域独占体制ができたあとも、電化が遅れていた地域では協同組合などによる小水力発電がさかんに行われていました。そんな伝統を未来に活かす事例を考えます。(本誌五三頁)